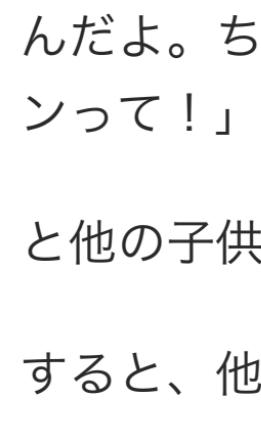


靴飛ばしをする宮城県塩釜市の少年達

『宮城県に面白い練習があると聞いたので飛び込み参加してきた』

DAY1



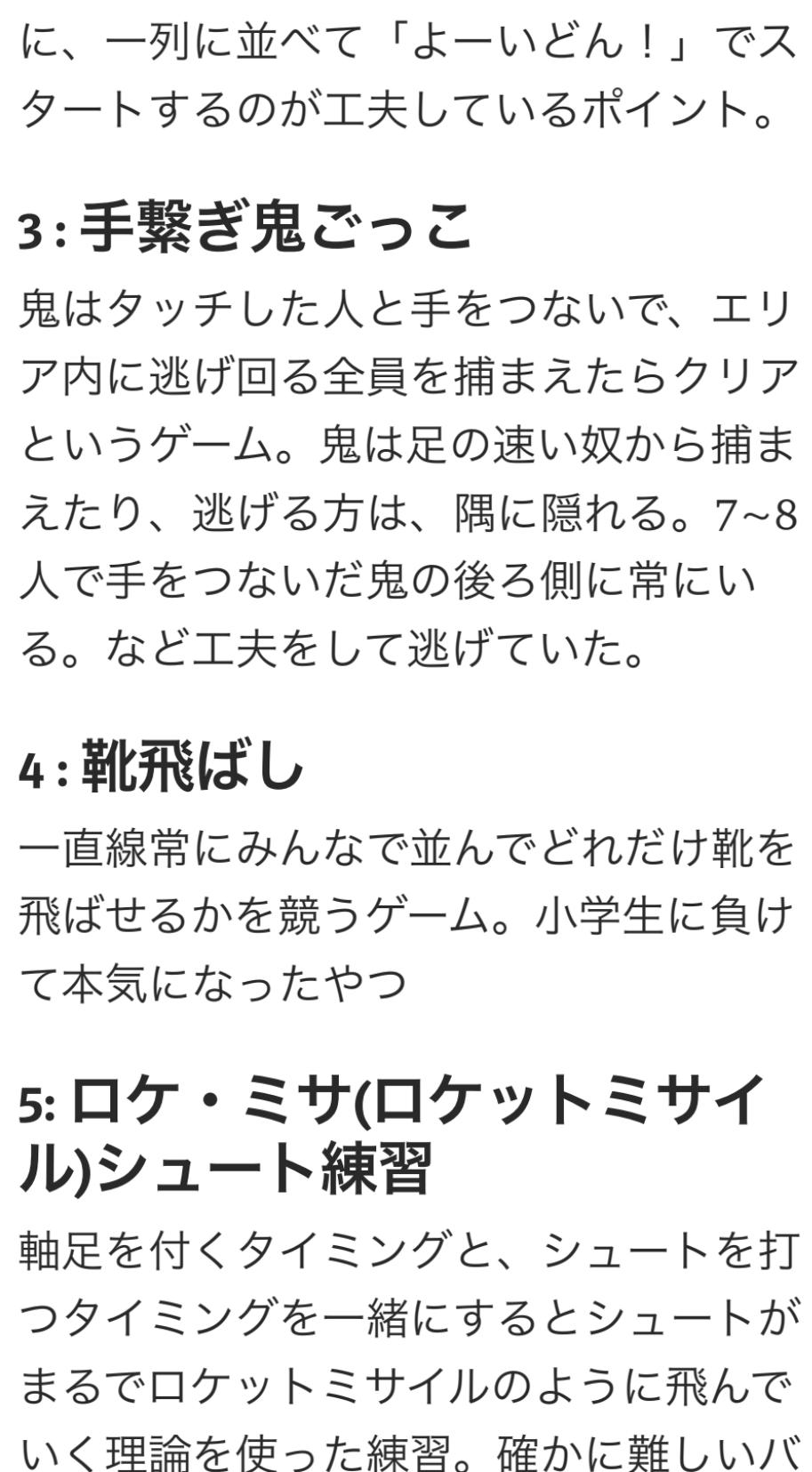
 Ryusuke Nakamura
Sep 8, 2016 · 6 min read

宮城県の塩釜市に、面白い練習をしている変なおっちゃんがいると聞いたので突撃してきました。

小幡忠義さん紹介

面白い練習を考えている方は、小幡忠義(おばたただよし)さんです。宮城県サッカー協会の元会長さんで、今までプロサッカー選手を15~16人も育ててきたすごい方です。(変なおっちゃんとか言ってスミマセン)

Jリーグが始まる30年前から約50年、塩釜FCというクラブチームで少年にサッカーを教えていた職人さんです。(現在は引退されて、もう一度小学生の指導を見直されているらしいです)



「キヤリアとか全然興味ない」と常に目の前の少年たちのことを考えている小幡さん

「靴を一番飛ばせる選手が、一番ボールを飛ばせるんだ」

サッカーの指導マニュアルなんて呼んだことがない!という小幡さんの考える練習メニューはかなり独特。

個人的に一番面白かったのは、キックを教える時にいきなりボールを蹴らせるのではなく、「靴飛ばし」をするというも

の。この感覚を靴飛ばしで養うことで、ボールを遠くに蹴る感覚を手に入れるのだ

う。

実際に、一番靴を飛ばしていた、やん

ちゃん3年生がサッカーボールの時でも

キック力が半端なかった。(ちなみに、

僕は彼に靴飛ばしで負けました)

面白いのはそれだけじゃない

実は、一番靴を飛ばした彼がやっていた

「下から蹴るんじゃなくて、横から蹴る

んだよ。ちょっと上の方を狙って蹴る

んだよ!」

と他の子供に説明していました。

すると、他の子は説明が終わるやいなや

真似してやってみた。僕ももちろん彼に負けました)

すると、他の子供は説明が終わるやいなや

真似してやってみた。僕ももちろん彼に負けました)